

地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業

(学校を核とした地域力強化プランにおいて実施 (実施主体：都道府県・指定都市・中核市、補助率：1/3))

(前年度予算額
29年度予算額)

88百万円
86百万円

- ・通学路で子供たちが巻き込まれる事件・事故
- ・学校への不審者の侵入

子供たちが安心して教育を受けられる環境の整備が必要

スクールガード・リーダーの配置

防犯の専門家や警察官OB等をスクールガード・リーダーとして委嘱し、各学校やスクールガード（学校安全ボランティア）に対する警備のポイント等の指導と評価等を全国の小学校において実施。

【委嘱するスクールガード・リーダー数】約1,600人

スクールガード・リーダー育成講習会の開催

スクールガード・リーダーとしての資質を備えた人材を継続的に確保するため、学校安全に積極的に取り組んでいた教職員OB等を対象に育成講習会を開催。

スクールガード 養成講習会の開催

通学路等で子供たちを見守るスクールガード（学校安全ボランティア）を養成するために、最新の安全に関する情報などを学ぶことができる養成講習会を全国で開催。



各地域の子供の見守り活動の支援

各地域の通学路や学校で実施されている子供の見守り活動などの、防犯活動に対する支援の実施。

【活動例】

- ・スクールガードによる通学路における防犯パトロールの実施
- ・地域の大人と児童の両者が参加した防犯訓練等の実施
- ・ボランティア等と連携した通学安全マップの作成
- ・教育委員会、警察、消防署等の関係機関や地域の関係団体（おやじの会、ガソリンスタンド等の民間企業等）との連携による活動の実施
- ・防犯ブザーの児童等への貸与
- ・子供の安全に関しICTを活用し、関係者間で情報を効果的に共有できるような取組の実施 など

学校安全ボランティア等を安全かつ効果的に活用する仕組みを整備し、地域社会全体で、子供の安全を見守る体制を整備